

「みなで牧されるために」
(ペテロの手紙第一5章1節～7節)

牧師：原 雅幸

序)「友だち以上、家族未満」?!

・神(たましいの牧者、監督者)から離れ、全体像を喪失した状態が「さまよう羊」に喩えられている。



1) 人生の全体を統合する教会

- ・2:25「監督」とは「全体を見る者」であり、教会を通して、神はたましいの監督をしてくださる。
- ・分断と孤独が深まる社会の中で、教会は人生のすべてを祈りのうちに統合することができ、その必要を満たす場所である。

2) 謙遜を身に着け、へりくだる大切さ

- ・「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる。」
- 神を操作する公式ではないが、恵みを受けるための人間側の条件である。
- ・教会の交わりがへりくだり合う関係であるとは、キリストの前にひざまずいて仕え合う関係を作るということ。
- ・教会に「高ぶり」が入り込む時、恵みは遠ざかり、教会は力を失う。
- ・恵みなしに、この地上の人生を生き抜くことはできないとの認識が、へりくだりへの第一歩。助けがいらないと思うことも、自分で何とかしなくてはと「思い煩う」ことも、高ぶりの現れである。

3) 自分の立ち位置をわきまえる

- ・「長老」...言葉の意味は、年長者のこと。年齢と共に経験(神と共に歩む経験)を重ねた人は、知識よりも体験として主を知っている。人格がきよめられるのに、ある程度の時間が必要。紀元1世紀の教会では、年長であることとリーダーシップを執ることが一致していた。
- ・この御言葉(1節～4節)は、役員や牧師に対する勧めとして読まれる。しかし制度としての「長老」はこの時代の後に生まれるものであり、この御言葉自体は、もっと広い対象に語られていることに注意!
- ・年長者は、教会の益のため、自分の後に育ってくる人の話を聞き、共に祈り、身をもって主に従うことを示すことで、ロールモデルになることが期待されている。→「若い人たち」も同じように!「従う」

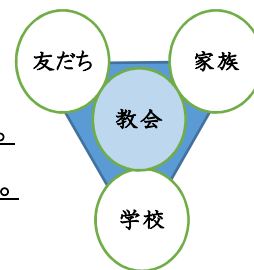
結) 教会という主の牧場で

- ・目に見えない主イエスの教会(羊飼いのわざ:監督)を、みなで分かち合うとき、教会は健全に、地域のすべての方のための牧場となる

名前()

◆お話を聞きながら、答えを考えましょう。

- ① 友だち、家族、学校、教会の4つの人間関係で、あなたが今、いちばん過ごしやすいのは、どこでしょう。もっと良くしたい(充実させたい)と思うのはどこでしょう。



② 「高ぶり」とは何でしょうか。あてはまるものに○をしましょう。

- () 神様なんて要らないと思う心
- () 自分は一人でやっていけると自信をもつこと
- () 問題を解決するために、一人であれこれ考え、悩むこと
- () 神様の力をもらえなくする壁のようなもの
- () その他

◆お話を聞いた後で、考えましょう。

③ 教会の中で、あなたがお手本にしたいと思う人はいますか。



～教会クイズ(教理問答)～

Q043 第三戒は何ですか。

A043 「あなたの神、 の名をみだりに口にしてはならない」

です。それはわたしたちが神さまを 、大切にし、
 をもって呼び求めるべきということです。